

連携機関

- 〇〇〇〇(株)
- 〇〇〇(株)
- 〇〇大学
- (独)〇〇

(凡例)
赤字吹き出しは書き方の
ポイントを表しています。

功労者候補者

- 〇〇〇〇(株) 〇〇部
プロジェクトマネージャー〇△
- 〇〇大学 教授 〇〇××
- 〇〇〇〇〇(株)

個人又はグループ・団体は原則3者以内とします。産学官の複数セクターからの候補者を挙げてください。貢献度の大きさ順にご記入ください。グループ・団体の場合も、実際に貢献した個人をできるだけ検討ください。候補者の異動等により単独のセクターに見える場合は括弧書きで前職を明記してください。

事例の概要

- 〇〇〇〇(株)と〇〇大学の〇〇教授は連携して〇〇の〇〇化に着手、その後さらに〇〇技術を有する〇〇〇(株)等を含めたコンソーシアムを形成し、オープンイノベーションによる開発体制により世界で初めて
- 従来の〇〇技術では、〇〇には不向きであったが、本技術は、〇〇〇を〇〇として用いることで、実用化に成功。
- この技術により、開発された〇〇は現在では各国で利用されており、〇〇の技術は国際標準にも採用され、売り上げも着実に伸びている。
- さらに、この事業を契機として内外の多くの企業で周辺機器の開発・製造も始まり、推定市場規模は〇〇〇億円と新たな産業の創出にもつながった。

連携体制、技術の概要、背景、社会的成果などを明確にし、事例を簡潔に説明してください(300~400字程度)。

ポイント

1. 連携の工夫・特長・波及効果

- ・〇〇教授の基礎研究成果をもとに、大学と企業が連携して製品技術まで開発。さらに他社の参加を促しコンソーシアムを形成、国際標準採用に至るまで関係者が一丸となって活動した。

2. 社会(地域を含む)への貢献

- ・〇〇の製品化により、グローバルな〇〇を実現
- ・(国内外の受賞歴、など)

3. 技術への貢献

- ・〇〇年に世界で初めて△△を提案、実用化。
- ・(新規性、革新性 など)

4. 市場への貢献

- ・〇〇(株)が「製品名〇〇」で、H21年〇〇月から販売開始。売上実績〇〇円。
- ・(市場占有率 など)

次頁以降の各項目について、「特筆すべき事項」をご記載ください(1~2行程度)。詳細は、次頁以降の「具体的成果等」の各項目内で説明してください。

写真もしくは図(とそのタイトル)を必ず入れてください。

開発した製品・装置等の写真



具体的成果等

最重要ポイント

1. 連携の工夫・特長・波及効果

- 連携の概要とその特長
- 他の事例と比較し特に産学官連携で特徴的な点
- 知的財産管理を含めた研究の管理体制で、工夫していること
- 人事交流等
- 連携体制によってもたらされたあるいは期待される具体的な効果
- その他、波及効果 など

産学官連携の観点において、当該連携の活動のうち他と比較して何が特徴かを具体的に記述してください。

例:産学官の連携・協力の体制とその特長、組織の整備、キーパーソンのリーダーシップの発揮、関係者の志気の高揚、連携がもたらす波及効果(他の組織や地域への普及を含む可能性)、利益相反への取組

必要に応じて図表等も挿入してください。

事例名:「〇〇装置」の開発に係る産学官連携

具体的成果等

(候補者の主な役割)

- 〇〇氏:〇〇など〇〇を用いた〇〇技術開発を推進し、実用化レベルまで向上させた。
- 〇〇〇(株):〇〇開発等を推進した。

必要に応じて図表等も挿入してください。

(※候補者について、企業・大学間での移籍歴等あればこちらにて明記してください。
また、候補者の中で若手(39歳以下)の方があれば明記ください。)

事例名:「〇〇装置」の開発に係る産学官連携

具体的成果等

2. 社会(地域を含む)への貢献

- 〇〇ネットワークや△△システムなど、現代の〇〇ネットワークに不可欠な技術。
- 表彰:「〇〇」に対する△△からの表彰(平成〇〇年度)
- 新聞記事掲載:「〇〇新聞」掲載(平成〇〇年〇月〇日△面)
- 雇用創出:
- 省エネ:従来技術で〇〇であった〇〇省エネを実現。
- 国際貢献:
- 標準化:
- 国内外の受賞歴:
- 〇〇大賞にエントリー
- その他:

事業の推進による地域を含む社会への貢献や国際的な貢献に対する評価、人材育成等に関する事項があれば記載ください。
必要に応じて図表等も挿入してください。

応募時点で平成28年度分の他の表彰にエントリーしていればご記載ください。

事例名:「〇〇装置」の開発に係る産学官連携

具体的成果等

3. 技術への貢献

◎具体的説明

- 世界に先駆けて、新規〇〇プロセスの創出。
-

◎現在の開発段階・状況(臨床試験等含む):

◎特許: 主要なもの(成立(国内、海外)、出願(国内、海外))の特許名及びパテント番号

◎査読付論文等: 主要なもの(のタイトルや掲載誌情報)

◎基礎研究の革新的な応用等、学術的側面での特記事項

開発された技術の革新性や、その波及効果を記載ください。

- 従来技術の問題点・不可能だったこと
- 本技術のポイント(科学的根拠、データ・数値を元に)
- 期待される波及効果 などを記載

4. 市場への貢献

◎具体的説明

- 〇〇(株)が「製品名〇〇」で、H〇〇年〇〇月から販売開始。
- 新規〇〇プロセスを創出し、全世界の主要〇〇メーカー〇〇社に納入。
- 売上実績: H〇〇年度(〇〇台、〇〇円)、H〇〇年度(〇〇台、〇〇円)、
H〇〇年度予定(〇〇台、〇〇円)
- 国内市場占有率: 〇〇%(市場占有率の算出基礎は、〇〇〇〇に基づく〇〇)
- 自治体の採択数(H〇〇年〇〇団体、H〇〇年〇〇団体、H〇〇年〇〇団体)
- ライセンス実施状況:(ライセンス先、実施期間、実施額)
- その他:

市場に投入された製品・サービス等の評価や技術に対する市場の評価、事業の継続性について記載ください。
特にカテゴリー②、③応募者は可能な限り詳細を記載ください。

事例名:「〇〇装置」の開発に係る産学官連携

具体的成果等

5. 補足資料等(データ)

<事例に係る特許等の件数>

(主要なもの(成立(国内、海外)、出願(国内、海外))の特許名、特許文献番号、発明者、出願人)

特許出願(申請)件数 (件)			
国内	〇〇	海外	〇〇
特許取得(成立)件数			
国内	〇〇	海外	〇〇
ライセンス件数			
国内	〇〇	海外	〇〇

- ①(特許第〇〇〇号)(特公:平〇-△△)(特開:平〇-△△)(特願:昭〇〇-△△)
名称:「〇〇〇〇」
発明者:〇〇〇〇、△△△△ 出願人:□□□□株式会社
- ②(特許第〇〇〇号)(特公-(未公告の場合))(特開:-(未公開の場合))(特願:〇〇)
名称:「〇〇」
発明者:〇〇〇〇 出願人:△△△△
- ③(PCT/〇〇△△△△/□□)(WO△△/〇〇〇〇)
〇〇年にPCT出願、〇〇年に指定国移行(日本、米国、英、独、仏...)
名称:「〇〇」
発明者:〇〇〇〇 出願人:△△△△

<事例に係る主な補助金・委託費の件数> 〇件

件数が多い場合は、総数を記載したうえで主なもの5件程度を表に記載ください。

年度	補助者・委託者(受託者ではない)について		採択課題名	交付金額 (単位:千円)
	配分機関名	事業名		
H〇〇	(独)△△	〇〇〇〇事業	〇〇〇〇の作製法	〇〇〇
H〇〇~H〇〇	(独)△△	□□□□事業 (〇〇プログラム)	〇〇〇の□□の開発	〇〇〇
H〇〇~H〇〇	(独)〇〇	科学研究費補助金 △△研究 基礎〇〇学	〇〇〇〇.....	〇〇〇〇

事例名:「〇〇装置」の開発に係る産学官連携

具体的成果等

5. 補足資料等(データ)

<事例に係る共同・受託研究の件数> 共同研究〇件 / 受託研究〇件

共同/受託研究	実施時期	共同研究/受託研究の参加機関(自社含む)	内容	実施額 (千円)
共同研究	H〇〇~ H〇〇	〇〇〇〇株式会社・〇〇大学〇〇教授	〇〇〇〇	〇〇〇
共同研究				
受託研究				

主な共同研究・受託研究について表に概要を記載ください。
多数ある場合は主なものを5件程度記載ください。

<その他>

事例にかかるデータ等補足説明がある場合は記載ください。

受賞した事例については、本資料(別紙3)を内閣府ホームページ上で公開させて頂く予定です。

公開することで権利・利益を侵害されると判断される等、不都合な内容がありましたら、次ページ以降に記載ください。

なお次ページ以降の非公開・不公表情報を含めた全てが選考資料となります。

事例名：「〇〇装置」の開発に係る産学官連携

具体的成果等

1～4での不公表情報

<売上実績>

製品名			
実施会社名	〇×株式会社		
販売開始時期	平成〇年〇月		
主な用途			
売上高	区分	数量	金額
	年度	単位(台)	(百万円)
	H24年		
	H25年		
	H26年		
	開始時からの累計		
	平均単価		
次年度(見込)			

【項目1～4で不公表情報】

項目1～4(P1～P5)で不公表情報があればこちらに記載ください。

<※利益相反防止に係る取り組みが適切に行われていることを簡潔にご記載ください。
(各機関の利益相反防止ポリシー・規則等の有無、遵守状況等)>

事例名：「〇〇装置」の開発に係る産学官連携

具体的成果等

5. 補足資料等(データ)(不公表)

P6、P7で不公表の内容があれば、該当部分のみP6、P7の記載方法で記載ください。

<事例に係る特許等(主要なもの)>

(特許第〇〇・〇号)(特公-(未公告の場合))(特開-(未公開の場合))(特願:〇〇)
 名称:「〇〇」
 発明者:〇〇〇〇 出願人:△△△△

<事例に係る主な補助金・委託費>

年度	補助者・委託者(受託者ではない)について		採択課題名	交付金額 (単位:千円)
	配分機関名	事業名		
H〇〇	(独)△△	〇〇〇〇事業	〇〇〇〇の作製法	〇〇〇

<事例に係る共同・受託研究>

共同/受託研究	実施時期	共同研究/受託研究の参加機関(自社含む)	内容	実施額(千円)
共同研究	H〇〇～ H〇〇	〇〇〇〇株式会社・〇〇大学〇〇教授	〇〇〇〇	〇〇〇

<その他>